



有限会社 吉田工業

vol.21

2024年9月15日発行





管工事 課長

YAMAKI SHUNSUKE 八巻 俊介

管工事の課長を務める八巻俊介さんは、2019年3月に有限会社吉田工業に入社しました。これまでの経験を活かしながら、現場の作業をスムーズに進めるために、さまざまな工夫や努力をしています。そのような八巻さんに仕事に対する心構えや部下との接し方、今後の目標などについて話を伺いました。

入社の経緯について

教えてください。

転職を検討していたときに、当時地域の同じソフトボールチームでプレーをしていた吉田社長から声をかけてもらったことがきっかけです。高校卒業後に入社した会社では配管の仕事をしていた経験があり、吉田工業の業務にも親しみを覚えて身近に感じました。吉田工業に入社する以前の会社

は、職場の環境が自分にはあまり合わないと思いつながら仕事をする毎日でした。昔気質の職人が多かったせいか、丁寧に後輩を指導するというよりも「目で見て盗め」といった考えで、ときには声を荒らげて怒鳴られることもありました。自分の仕事に誇りを持ち、妥協せずに仕事をする姿を尊敬していたものの、そのような環境に身を置き続けることに違和感を覚えていたため、転職を決心しました。吉田工業にご縁をいただいたことに、大変感謝しています。

仕事をする上で、

どのような点を

意識していますか。

お客様に迷惑がかからないよう、絶対に現場に穴を空けないことです。加えて、納期に確実に間に合わせることを強く意識してい

ます。とくに工期が短い案件では、人材配置や仕事の振り分けが重要です。私の仕事は現場が円滑に回るよう作業の指示を出すことで、一人ひとりの力量や得意不得意を見極めて仕事を与えるようにしています。初めて一緒に仕事をする人の場合は、現場に入る前にその人の仕事ぶりを周囲に聞いてみたり、現場で作業する様子を見たりして判断するようにはしていますね。作業の効率化のためには必須なことです。

若手社員と一緒に

仕事をする際に、

心がけていることは

ありますか。

先に述べたように以前の会社ではコミュニケーション不足の面があり、自身の働く意欲の低下につ

ながっていたように感じます。今は時代も考え方も大きく違うため、先輩に指導する際には大きな声で注意するのではなく、わからないときには一緒に作業をして丁寧に教えています。

また現場には常に危険が伴い、さらに夏場など体力の消耗が激しい時期は普段よりも注意が必要です。部下の体調を気にかけてながら、仕事をしています。

社員の成長に伴い

会社が大きく

成長していくことで、

皆さんに

どのようなメリットが

あると思いますか。

会社の成長に伴い業績がアップすれば、私たちの収入にも良い影響があるのではないかと思います

す。頑張った分だけ還元されると思えば、モチベーションアップにつながります。皆で一丸となって成績を上げて会社を発展させ、そして自分たちも潤っていくという好循環を作っていくことが理想ですね。

最後に、

今後の目標と

若手へのメッセージを

お願いします。

最近、社内では玉掛け作業や溶接、ハンコンといったさまざまな研修を行っています。そうした講習を積極的に受講して、自分のスキルをさらに高めていくことが目標です。また、より多くの社員が参加することにより、会社全体のスキルが底上げされたと考えます。そして、若手社員に伝えたいこ

とは「無理なものは無理、嫌なことは嫌だ」と遠慮なく話してもらいたいということです。1人で抱え込まずに、一緒に問題点や解決法を考えるのが私の役目だと思っています。

自身の過去の経験から、部下を大切に育てるマネジメントの重要性を認識したという八巻さん。吉田工業の未来を担う若手の成長を支え、そして自身も新たな挑戦を続けて会社のさらなる発展に貢献していきます。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

ゴルフコンペ レポート

2024年7月28日(日)に
第4回 YSDK 杯が開催されました!
見事1位に輝いたのは、どなただったのでしょうか?
当日の様子をお届けします!



概要

開催日 2024年7月28日(日)

開催場所 バイロンネルソンカントリークラブ

参加者人数 10名



SCORE

順位	プレイヤー名	隠しホール No. PAR	ウエスト									計	サウス									計	GROSS	HDCP	NET	受賞
			*	*	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*	*	*					
優勝	村山 晃	様	7	4	8	6	3	6	5	3	5	47	5	4	3	8	8	5	4	5	6	48	95	24.0	71.0	
準優勝	吉田 忠克	様	9	4	4	8	3	6	8	4	9	55	4	4	3	8	7	6	4	3	7	46	101	28.8	72.2	
3位	河村 博	様	9	4	4	5	4	5	7	5	4	47	7	8	4	6	7	5	4	5	6	52	99	25.2	73.8	
4位	八巻 俊介	様	6	5	5	8	3	7	4	3	4	45	6	4	3	4	6	7	3	4	5	42	87	10.8	76.2	
5位	小堀 勝	様	9	7	6	9	5	6	8	6	6	62	6	8	5	6	8	5	5	7	6	56	118	38.4	79.6	
6位	中島 晶	様	9	8	5	6	4	5	7	6	9	59	9	9	4	8	8	7	6	6	9	66	125	44.4	80.6	
7位	鷲 正人	様	8	6	5	8	6	7	6	3	8	57	7	7	5	7	9	5	7	5	7	59	116	34.8	81.2	
8位	羽深 香織	様	7	8	8	9	6	5	7	7	5	62	7	12	4	5	6	6	5	8	8	61	123	39.6	83.4	
9位	吉田 結女香	様	9	11	7	8	5	6	8	4	7	65	10	5	4	11	8	6	4	7	8	63	128	40.8	87.2	
10位	吉田 穂華	様	11	9	7	8	7	7	8	4	5	66	7	7	6	9	11	7	5	7	11	70	136	48.0	88.0	



若手社員が目指す!

尊敬する上司

日頃から陰日向に業務に邁進し、会社のために頑張る上司の皆様、
部下のために心を配る姿を、若手社員はしっかり見ています!
今回は鈴木さんに「尊敬する上司」について語っていただきました!

放射線管理部門

すずき まお
鈴木 慎生 さん

TO

あつみ あきら
厚海 彰 さん

厚海さんとの関係性

厚海さんは放射線管理部門の課長で、2023年10月から一緒に新日本空調に派遣されています。ここでは他社が集まって仕事をしていますが、当社からは私たち2人だけ。厚海さんとお会いしたのはそのときが初めてでした。

厚海さんの印象

人柄も能力も素晴らしい人

初めて一緒に仕事に取り組むため、どのような人だろうと思っていたところ、温かい雰囲気ですぐに、本当に良い方でした。初対面のときも「頼むね。一緒に頑張ろう」と先に声をかけてくださり、私もさらにモチベーションが上がりました。常に落ち着いていて、仕事においても非の打ち所がない方です。

厚海さんの尊敬しているところ

高いコミュニケーション能力

コミュニケーションがうまく、誰とでも自然に接することができる所です。また、わからないところは他の人に聞いて解決し、それをフィードバックして下さるので大変助かります。私は人に聞けないタイプであるため、自分が聞かなければ私が困ると思われるのかもしれない。

厚海さんから学んだこと

厚海さんのようにとはいかないまでも、自ら率先して周囲の方に声をかけられるよう、頑張りたいと思います。

厚海さんへのメッセージ

いつも私を気にかけてくださりありがとうございます。私も厚海さんのように頼れる人物になれるよう、頑張っていきたいと思います。



忘れられない!

お客様からのお喜びの声



工事二課 工事二課長
こまつ だいすけ
小松 大介さん

過酷な現場で奮闘する中、お客様からの一言で「全てが報われた」と感じたことはありませんか？今回は、いまだ汚染が残る福島第一原発の現場でもらった嬉しい言葉を小松課長が紹介します。一通り記事を読んだ後にその言葉に戻ると、きっと印象が変わります！

いただいたお喜びの声

「予定通り、問題なく安全に進められましたね」

原発現場で安全かつ工期通りに作業を進行

3年ほど前から、福島第一原発で機械の保守管理作業に携わっています。この言葉がいただけた要因は、工程通りに作業が進み、途中事故

や不具合もなく、工事の品質にも問題がなかったから。安全を重視し、依頼主の期待に応える結果を出せたからではないでしょうか。

現場での苦労話

防護服はまるでサウナスーツ！汗も作業も止まらない！

高濃度の汚染区域での作業は重装備で、防護服とマスクが義務付けられています。夏場の暑い中、サウナスーツのように密封されている防護服を着ての作業は本当に大変でした。少しでも涼しいうちにと、午前

3時半～お昼12時半が定時であるサマータイム制を導入してもなお、体力的な厳しさがありました。その過酷な状況の中、工期通りに作業を進められたことも、評価されたポイントだと考えています。



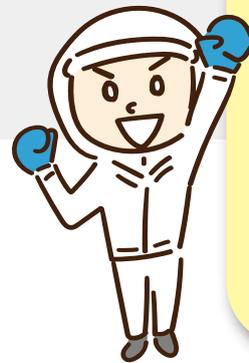
工事中

安全第一、厳しい現場でも 確かな手順でリスクを管理する

何よりも安全管理を徹底しています。
事故を起こさないことはもちろん、
原発現場特有の汚染リスクもあるため、
いつも以上に注意が必要です。例えば、
休憩しようと思ってもすぐにはできません。
休憩所に移動して着替えるのですが、
防護服を脱ぐのも一苦勞。しかし、
その決まった手順を遵守してこそ安全
性を保てるというわけです。

現在の作業人数は5人、イレギュラー
なことにも臨機応変に対応できる 40
～ 50 代のベテラン揃いです。怪我をす
ると本人も仕事を休まなければいけま
せんし、その後の会社の対応も煩雑で
す。作業がストップすると、関係会社や
社員の家族にも迷惑がかかることを認
識し、常に安全第一で作業に取り組ん
でほしいと思っています。

お客様満足向上のために
心がけていること



安全に作業をするコツ

定期的な休憩が、 集中力と安全の基盤に

作業内容が変わるタイミングで一息つき、
次の行動に移ることが大切です。若い頃は
勢いそのまま作業を続け、失敗してしまうこと
もありました。休憩を取らずに仕事を進め
ると、集中力が切れて間違いやすくなるた
め、今は意識的に気分を落ち着けるための
時間を作るようにしています。

また、夏場の原発現場では、猛暑の中で防
護服を着用することを考慮し、作業時間は
1日2時間までと決められています。短時間
で定期的に小さな休憩を取り入れながら作
業をすることも、安全を確保するポイントで
す。

若手社員へのアドバイス

無理は禁物。経験者の知恵を活用し、 心にゆとりを持とう

わからないことやできないことがあれば、す
ぐに上司や先輩に尋ねてください。私は若
手時代、わからないことがあればすぐ先輩
に聞いていました。聞けばすぐに答えが出
てきますし、その方が早いからです（笑）

経験者を活用することが時短につながると
考え、積極的に話しかけてもらえたらと思
います。事故を防ぐには、心にゆとりを持つ
ことが大切です。技量を超えた作業を無理
に行おうとせず、うまく周りを頼ってください。



